

賛 助 会 員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) KANSO テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒141-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、第 69 巻 2 号の p.133-136 に掲載された新しい投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。新しい投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票については日本藻類学会の Web サイトからもダウンロードできます。(編)

編集後記

歴代の和文誌編集委員長は“背表紙の印刷ができる厚さ”を保持するために様々な努力をされてきましたが、現状、自転車操業状態は変わらず、原稿がなかなか集まって来ない状態が続いております。分類の研究者はご自身の専門分類群のモノグラフはもちろん、特定の種の特徴、似て非なる種の比較など、種を認識するための情報を、生態の研究者はご自身のフィールドにおけるフローラやその年変動、生産量、環境、分布、近縁種の生育場所の違いなど種の生育環境を把握する

ための情報を是非ご投稿ください。最新の分子生物学的研究、生理・生化学的研究、細胞学的研究、応用学的研究、教育学的研究、ご自身の専門分野及び専門技術（採集・観察・染色・養殖・藻場造成など）に関する既往資料の解析なども大歓迎です。ご自分が持っているだけのデータ、認識しているだけの事象は表に出さなければ無いも同然です。藻類学会員が情報共有するための必須アイテムとして、さらなる和文誌の充実を目指して参りたいと思います。

(芹澤 如比古)

表紙 日本藻類学会特別賞(岡村賞)受賞者の野田三千代氏の指導のもと秋田市で小学生対象に開催された海藻おしば教室の様子